



# 東村山市子ども読書活動推進計画

第2次（平成22年度～26年度）

進捗状況報告③ 『きょういく東村山』より

## 教科書にのっている本



### 「教科書コーナー」リニューアル

市立図書館では小学生への取り組みとして、子どもたちの興味や学習状況に沿って自然に本を手にとることができるように、本の配置を工夫しています。

館内には「季節の本コーナー」や「移動教室コーナー」などのミニコーナーを設けていますが、中央図書館では4月から「教科書コーナー」をリニューアルしました。ここには、市内の小学校で使用する国語の教科書に掲載されている作品や関連の本を集めています。

### 新しい国語教科書

教科書は、4年ごとに採択されますが、平成23年度から小学校の教科書が切り替わったのをきっかけに、改めて掲載本を集め直し、スペースを増やしました。

新しい教科書には以前に増して多くの絵本、物語などがのっています。本文がそのまま掲載される場合もあれば、「本は友だち」、「この本、読もう」というページに書名が紹介される場合もあります。このコーナーでは、それらの本に学年と上巻・下巻（4年生までは教科書は上下2冊に分かれています）の表示をし、学年別に並べています。

1年生の『おおきなかぶ』、2年生の『スイミー』などの作品は、教科書にのっていることで、どの子も親しみを持っていて、表紙を見せて並べると「知ってる」と言ってくれそうに借りていきます。知っているお話は何度読んでも楽しいし、大判の絵本は教科書とは違う魅力があります。

また、低学年は教科書を音読する宿題が出ることが多いので、保護者の方にもなじみのある作品も多く、お子さんの学年で習う本をまとめて借り

る方もいます。

高学年になると、学習のテーマも広がるので、紹介されている本のジャンルも多様になります。文学、伝記、ノンフィクションなど教科書をきっかけにいろいろな本に出会ってほしいと思います。

### 学校にも貸出

教科書関連の本は、学校からの依頼でクラスに貸し出すこともあります。授業の進展に合わせてタイミングよく差し出せば、手に取ってもらえるのではないかと期待しています。

### 言語活動の充実

文部科学省の学習指導要領は、ほぼ10年ごとに改訂されますが、小学校では今年度から新しい学習指導要領が完全実施となりました。今回の改訂の特徴のひとつが「言語活動の充実」です。言語活動の充実を図るためには、読書活動が欠かせません。

今後も学校と連携しながら、子どもが豊かな読書体験を得られるような取り組みをしていきたいと思っています。

『きょういく東村山』第64号より

平成23年6月20日号

編集・発行 東村山市教育委員会